

(5) 展 開

欄	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導入	1 中世ヨーロッパの特色を復習する	○キリスト教中心の中世世界の特色について発表する	・発問によって、中世の学習内容を思い出させる	
40分 展開	2 ルネサンスの意義について学ぶ 3 イタリアでルネサンスが最初に起こった理由について考察する 4 ルネサンスの展開について学ぶ 5 西ヨーロッパのルネサンスを概観する	○ルネサンス意義をワークシートにそってまとめる ○イタリアで最初にルネサンスが起こった理由とイタリアの状況を理解する ○イタリアのルネサンスの具体的な展開を IT 教材を見ながら鑑賞し、授業プリントでまとめる ○科学、三大発明にみられるルネサンスの合理主義について理解する ○16世紀以後に起こったイギリス、ネーデルランド、スペインのルネサンスの展開を理解する	・板書でルネサンスの意味、意義を説明する ・14世紀のイタリアで最初にルネサンスが起こった理由を発問によって引き出す ①～⑤ルネサンス期を代表する絵画、彫刻を提示し、視覚的にルネサンス美術の特色を捉えさせる ・地動説、ルネサンスの三大発明について説明し、合理主義の精神を理解させるとともに三大発明が近代ヨーロッパの成立に大きく寄与したことを説明する ・代表的な作品を調べ発表し、イタリアルネサンスの広がりを理解させる	【関心・意欲・態度】 いくつかの作品を鑑賞し、感想を述べることができる (発言) 【思考・判断】 三大発明が後の時代に与えた影響について予想できる (発言)
5分 まとめ	5 本時の学習の確認をする	○ルネサンスの開放的な考え方が西欧の近代社会成立のきっかけとなったことを確認する	・近代ヨーロッパ世界の成立の端緒となった大航海時代、宗教改革、絶対主義国家の成立との関連を説明し、次時に関心を持たせる	

： IT教材活用場面

I T教材の説明

①



①について

ボッティチェリ「春」

叙情性豊かな画風で、ルネサンスの基本精神である人間的な感情の解放を实践した。「春」というテーマの中で、ギリシアの神々の姿をかりて、恋愛を礼賛している。作品を紹介しながら、ルネサンスのヒューマニズムを理解させたい。

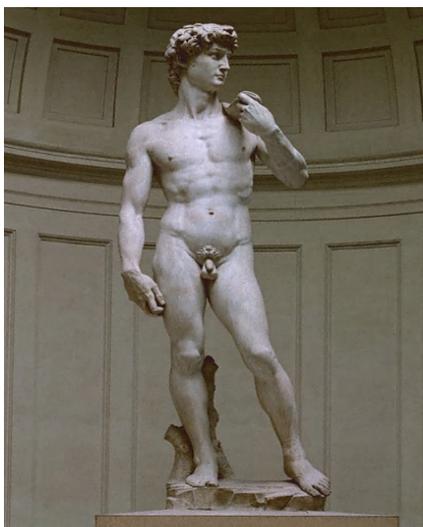
②



②について

【モナ・リザ】 レオナルド・ダ・ヴィンチ [イタリア 1452-1519]
モナ・リザ [油彩・板 77×53 cm
1503-06] ルーブル美術館 [フランス] 多くの謎に包まれた世界で最も有名な肖像画

③



③について

【ダビデの像】 ミケランジェロ・ブオナルローティ [イタリア 1475-1564] ダビデの像 [大理石 高さ 430 cm 1501-04] アカデミア美術館 [イタリア] 巨人ゴリアテをにらみつける若き英雄の勇姿

④



④について

【最後の審判（部分）】 ミケランジェロ・ブオナルローティ [イタリア 1475-1564] 最後の審判（部分） [フレスコ 1440×1330 cm 1536-41] システィナ礼拝堂 [バチカン] たくましい裸体の群像が繰り広げる壮大なドラマ

⑤



⑤について

【麗しの女庭師】 ラファエロ・サンティ [油彩・板 122×80 cm 1507] ルーブル美術館 [フランス] 安定した三角形構図の中の理想化された聖家族を描いている。母性愛を通して人間性を謳歌したラファエロの代表作。